

「高齢者の記憶と認知機能低下に対する生活支援ロボットシステムの開発」の研究開発チーム

井上 剛伸<国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部 部長>

埼玉県所沢市並木 4-1

TEL04-2995-3100 FAX04-2995-3132

「高齢者の記憶と認知機能低下に対する生活支援ロボットシステムの開発」に係る

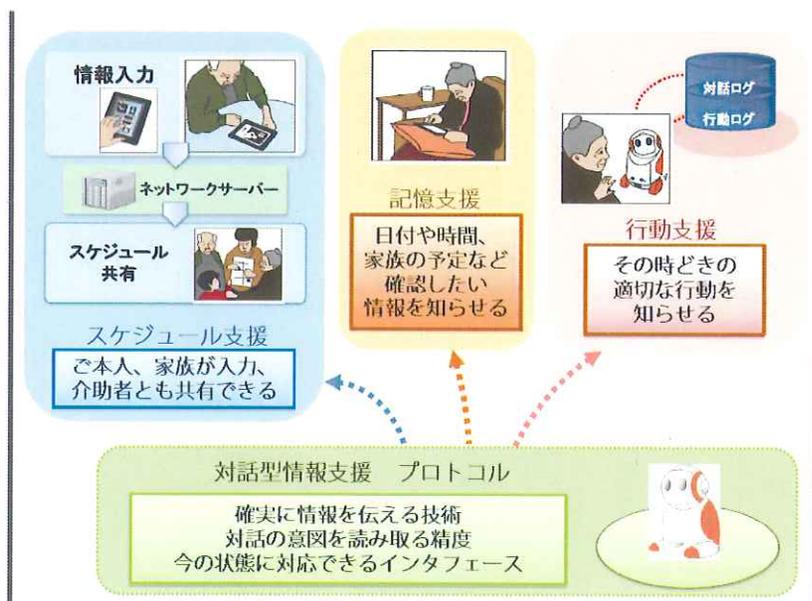
伊豆市でのニーズ調査結果について

独立行政法人科学技術振興機構（JST）が実施している研究成果展開事業「戦略的イノベーション創出推進プログラム（S-イノベ）」の研究課題として採択された「高齢者の記憶と認知機能低下に対する生活支援ロボットシステムの開発」の研究開発チームが伊豆市をフィールドに実施したニーズ調査の結果を報告する。

■ 「高齢者の記憶と認知機能低下に対する生活支援ロボットシステムの開発」研究開発チームについて

認知機能の低下した高齢者を対象として、生活に必要な情報を提示する対話型自立支援ロボットシステムの開発研究を進めている。平成31年度社会実装が目標。（詳細は参考資料のとおり）

<生活支援ロボットシステムイメージ図>



■ 伊豆市の関わりについて

研究に係るニーズ調査に協力（平成24年度・担当：長寿介護課）

- ・介護予防の支援をしている人たちに試作ロボットを見せる場を提供

提供場所：介護施設、民生委員、市主催のケア会議等

- ・個別及びグループでのヒアリング調査に担当者が同行

調査内容：ロボットの実現化に向けて必要な機能等

【「高齢者の記憶と認知機能低下に対する生活支援ロボットシステムの開発」研究開発チームの構成】

プロジェクトリーダー：井上 剛伸（国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部長）

開発リーダー：大中 慎一（日本電気株式会社 ソリューションプラットフォーム総括本部マネージャー）

参加機関：国立障害者リハビリテーションセンター研究所、東京大学、（独）産業技術総合研究所、

日本電気株式会社、株式会社生活科学運営、フランスベッド株式会社